

今日のトピック 世界の「投信マネー」(2018年2月)

2018年1月は株式ファンドが大幅流入超

18年1月は株式ファンドが大幅流入超に

- EPFRグローバル(注1)で世界の「投信マネー」の18年1月の資金フローを見ると、株式ファンドが1,072億ドルの流入超過と前月(70億ドル)を大幅に上回りました。2017年の月平均が242億ドルなので、4カ月強相当の超過額です。

上位は「北米」、「グローバル」、「GEM」

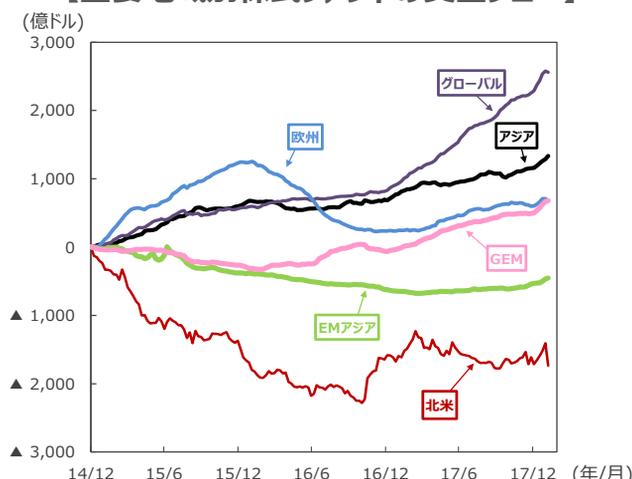
- 1月の株式ファンドの主な流入超過は、「北米」が307億ドル(前月▲87億ドル)、先進国全般に投資する「グローバル」が289億ドル(同88億ドル)、新興国全般に投資する「GEM(注4)」が169億ドル(同6億ドル)でした。また、「日本」への流入超過額も125億ドルと前月の53億ドルから拡大しました。

- 一方、債券ファンドの1月の流入超過額は284億ドルと前月(96億ドル)より増加し、ほぼ昨年(296億ドル)並みでした。先進国では「北米」(168億ドル、前月▲5億ドル)、新興国では「GEM」(103億ドル、前月61億ドル)への流入超過額が拡大しました。

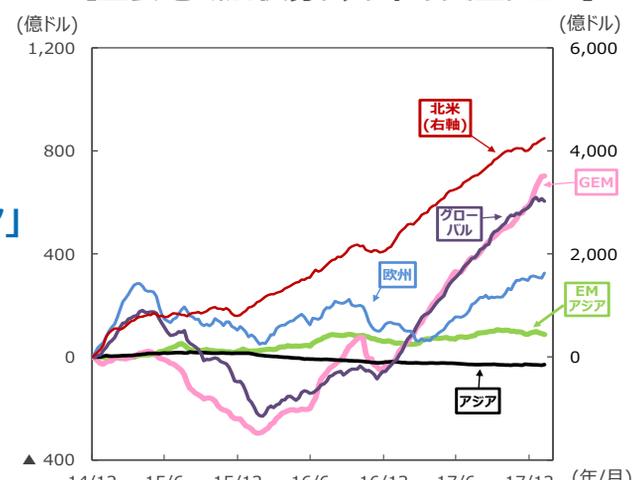
2月第1週に流入超となった株式の中心は「アジア」

- 2月第1週は米国金利が上昇、米国株式市場が大幅下落となりました。資金フローを見ると、同週に株式ファンド全体で306億ドルの流出超となりました。「北米」だけで329億ドルの大幅流出超でした。こうした中、僅かながらも流入超過基調を維持した株式ファンドもありました。それは、日本(47億ドル)、中国(7億ドル)、韓国(5億ドル)など、「アジア(注3)」、「EMアジア(注5)」です。
- また、債券ファンドは流入超過を維持しました。「グローバル」が11億ドルの流出超でしたが、「北米」が30億ドル、「欧州」が19億ドルの流入超を維持しました。「新興国」は全体で0.1億ドルの流出超にとどまりました。

【主要地域別株式ファンドの資金フロー】



【主要地域別債券ファンドの資金フロー】



(注1) EPFRグローバル：米国に本社を置く金融商品の調査会社。2017年12月末現在32.0兆ドル規模の世界のファンドの資金フローデータを持つ。
(注2) データは2014年12月～2018年2月。週次ベース。2018年2月は第1週。2014年12月からの累計。
(注3) 「アジア」は日本、豪州、ニュージーランド、香港、シンガポール。
(注4) 「GEM」はGlobal Emerging Markets(世界の新興国市場全体に投資するファンドの総称)。
(注5) 「EMアジア(新興アジア)」は中国、インド、韓国、台湾、インドネシア、マレーシア、フィリピン、タイ、ベトナム、パキスタン、バングラデシュ。
(出所) EPFRグローバルのデータを基に三井住友アセットマネジメント作成

ここも
チェック!

2018年2月9日 アジア株式市場の見通し

2018年2月6日 日米株式市場の見通し 金利上昇をきっかけとした株式市場の下落を受けて

■当資料は、情報提供を目的として、三井住友アセットマネジメントが作成したものです。特定の投資信託、生命保険、株式、債券等の売買を推奨・勧誘するものではありません。■当資料に基づいて取られた投資行動の結果については、当社は責任を負いません。■当資料の内容は作成基準日現在のものであり、将来予告なく変更されることがあります。■当資料に市場環境等についてのデータ・分析等が含まれる場合、それらは過去の実績及び将来の予想であり、今後の市場環境等を保証するものではありません。■当資料は当社が信頼性が高いと判断した情報等に基づき作成しておりますが、その正確性・完全性を保証するものではありません。■当資料にインデックス・統計資料等が記載される場合、それらの知的所有権その他の一切の権利は、その発行者および許諾者に帰属します。■当資料に掲載されている写真がある場合、写真はイメージであり、本文とは関係ない場合があります。